



市民クラブ
柴田 文男
議員

行政課題の解決について

質問 市長就任から1年半。折り返しまで半年。折り返しに向けた市長の決意を問う。

答弁 今後のあらゆる行政課題は広域的視点を持ちつつ対応すべき。広域連携を進め、最少の費用で最大の効果を求めます。地域産業の活性化が急務なことから、地場企業の強化支援はもとより、道外事業者と地場企業のビジネスマッチングを推進したい。また、観光戦略では、アジア圏域を含めた外客誘致に力を注ぐ。今年度から就学前の乳幼児等医療費などの無料化を実施しましたが、さらに少子化対策に力を注ぎ、子どもたちの養育環境の充実を図りたい。ほかにも喫緊の課題があるが、先送りすることなく全力で取り組みます。

防災対策について

質問 近年、災害対策本部の開催がないと聞く。防災体制を機能さ

せるための具体的な対応を尋ねる。

答弁 議員指摘の災害対策本部の訓練については十分なものとは考えていないので、応急対策を中心とした「図上訓練」を11月に実施したい。この訓練は陸上自衛隊第10普通科連隊などの関係機関の協力により、災害時に起こりうる条件に対する判断や対応を求めるもので、より実践的な訓練。今後3年間実施し、検証を重ね、防災体制の強化につなげたいと思います。

電気料値上げに伴う対応について

質問 北海道電力が値上げの動きとの報道だが、町内会は街路灯などの電気代上昇を危惧している。市としての今後の街路灯LED化などの対策について尋ねる。

答弁 北海道電力では具体的な検討は行っていないとのことだが、街路灯のLED化については、器具等の設置費用を含め、最短5年程度で投資効果が表れると見込まれ、現在の「街路灯補助金交付規則」にLED灯に対する補助規定を盛り込むよう手続きを行い、本年9月から補助対象とします。



公明党
三上 裕久
議員

定住自立圏を目指すにあたり課題と本市の役割について

質問 定住自立圏を目指すにあたり、中空知の5市5町が一つも漏れなく参加していただくことが必要だと考える。その意味で、関係市町にどのように理解してもらうのか。また、そのための本市の役割について伺う。

答弁 じっくり、急がず、中空知の関係市町の共通理解の中で進められるよう努めてまいります。この地域は、広域連携の歴史があり、今後もこの地域の発展のために関係市町との連携をしてまいります。

JR滝川駅舎建て替えについての見解について

質問 先頃、駅前広場の見直しが発表されたが、駅前広場の見直しを含む一体的な駅舎の建て替えについて、いつ頃を目途とされているのかを伺う。

答弁 今は、そのような考えはありませんが、市民や議会等の建て替え気運が盛り上がりがあれば考えてみたいと思います。



▲JR滝川駅

避難場所となる小中学校施設のLPガスの設置について

質問 都市ガスは、地震等の災害時に配管が寸断されガスを供給できなくなるといふ恐れがあるが、避難場所となる施設について、LPガスの設置でそのような事態を回避できるようにすべきと考えるが見解を伺う。

答弁 LPガス供給システムについては、今後対応できるかどうか、システムの内容等も含めて勉強させていただきたいと思います。